

2012年11月8日
(平成24年)

藤沢市長 鈴木 恒夫 様

藤沢市個人情報保護制度
運営審議会会長 畠山 関之

藤沢市環境審議会及び藤沢市廃棄物減量等推進審議会の庶務に係るコンピュータ処理について（答申）

2012年10月23日付けで諮問（第521号）された藤沢市環境審議会及び藤沢市廃棄物減量等推進審議会の庶務に係るコンピュータ処理について次のとおり答申します。

1 審議会の結論

藤沢市個人情報の保護に関する条例（平成15年藤沢市条例第7号。以下「条例」という。）第18条の規定によるコンピュータ処理を行うことは適当であると認められる。

2 実施機関の説明要旨

実施機関の説明を総合すると、本事務の実施に当たり（3）の対象手続のコンピュータ処理を行う必要性は、次のとおりである。

(1) 諮問に至る経過

本市では、インターネットを活用して自宅やオフィスから安心して行政手続を行うことができる電子自治体の取り組みを推進し、市民の負担軽減や利便性の向上を図るとともに、行政事務の簡素化及び効率化を進めるために、神奈川県及び県内31市町村（川崎市、横須賀市を除く。）と電子自治体共同運営事業を進めている。

この電子自治体共同運営事業において、利用者本人が、インターネットにより電子申請・届出システムを利用してオンラインで行政手続を行うため、コンピュータ利用について諮問するものである。

(2) コンピュータ処理の必要性について

申請・届出の電子化は、従来窓口で行っていた受付処理について、「電子自治体の総合窓口」として、事務を24時間365日、インターネット上で展開するものである。

これは、総合的かつ汎用的な受付処理を電子的に行うものであり、市民の負担軽減及び利便性向上を図るとともに、行政事務の効率化を進めることができることから、コンピュータ処理を行う必要がある。

(3) 対象手続（記録の名称）

対象手続は、「藤沢市廃棄物減量等推進審議会市民委員申込書」である。対象手続については、窓口、郵送でも受付をするが、この公募について、電子情報処理組織を使用して受け付けるものである。

なお、この申込書に関しては、来年度以降も同様の主旨の事業を実施する場合、同様にコンピュータ処理を行う。

(4) 電子申請・届出システムで取扱う個人情報（応募情報）について

電子申請で取扱う応募情報は、窓口、郵送での応募の情報にメールアドレスを追加する。

応募に際しての個人情報は、応募者の住所・氏名（ふりがな）・性別・生年月日（満年齢）・職業・電話番号・メールアドレス・応募の動機や抱負（800字程度）となる。

ア 応募情報は、各自治体ごとにデータベースに格納・管理する。

イ データベースに格納された応募情報は、申請先の業務担当者以外は参照、修正ができない。

ウ 業務の担当者は受付等にあたり、担当事務の応募情報を取扱う。

エ システム利用者は、必要に応じ応募の受付状況等をシステムに照会できる。

(5) システムの安全性について

今回利用する電子申請・届出システムは、2009年12月10日付け諮問第417号で諮問し、同日付け藤沢市個人情報保護制度運営審議会答申第417号で承認された、神奈川県及び県内市町村で利用する電子自治体共同運営システムである。

ア 契約方法

システムを運営する次世代電子自治体推進企業コンソーシアム（代表事業者：日本電気株式会社 神奈川支社 支社長）と神奈川県が委託契約を締結して運用し、本市は神奈川県と協定を結んでシステムを利用する。また、本市はシステムを運営する同コンソーシアムと個別の個人情報の取り扱いに関する業務委託契約書を締結することにより、個人情報を適切に管理するよう指導監督する。

イ ネットワーク

電子申請・届出システムでは、市民利用者側が通信するインターネットからのセキュリティがファイアウォール（F/W）等により十分に確保されている。また、インターネット通信は、SSLを利用した暗号化により、外部への情報漏洩を防ぐ。

職員は、自治体職員のみが利用できる専用回線の総合行政ネットワーク（LGWAN）を利用し、LGWANの通信についてもF/Wや暗号化等によりセキュリティが確保されるとともに、LGWANと庁内の情報系ネットワークの接続についてもF/Wを設置し、セキュリティ対策を行っている。

ウ 施設要件

国が定める「情報システム安全対策基準」を全て満たしており、具体的な施設への入退室の手順は次のとおり厳格に管理を実施する。①入室の事前申請、②作業決裁権者による承認、③施設警備員による写真付身分証の確認、④ワンタイムICカードの交付、⑤生体認証。

また、ラックの鍵は施設管理者が管理しており、必要なときに必要なラックのみにしか触れない管理を実施する。

エ 管理基準

プライバシーマーク及びISMSに基づき「セキュリティ基本方針」「セキュリティ実施規程」を策定し、国が定める「情報システム安全対策基準」及び「ASP・SaaSにおける情報セキュリティ対策ガイドライン」に準拠した運用を実施する。

(6) 実施年月日

2012年11月26日より（予定）

(7) 提出資料

ア 個人情報取扱事務届出書

イ 藤沢市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例（抜粋）

ウ 藤沢市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する規則（抜粋）

エ 藤沢市廃棄物減量等推進審議会市民委員の選考に関する基準

オ 電子申請・届出システム画面（案）

3 審議会の判断理由

当審議会は、次に述べる理由により、審議会の結論のとおり判断をするものである。

コンピュータ処理を行うことについて

(1) コンピュータ処理を行う必要性について

申請・届出の電子化は、従来窓口で行っていた受付処理について、「電子自治体の総合窓口」として、事務を24時間365日、インターネット上で

展開するものである。

これは、総合的かつ汎用的な受付処理を電子的に行うものであり、市民の負担軽減及び利便性向上を図るとともに、行政事務の効率化を進めることができる。

以上のことから判断すると、コンピュータ処理を行う必要性があると認められる。

(2) 対象手続

本件の対象手続は「藤沢市廃棄物減量等推進審議会市民委員申込書」であり、その性質上電子申請・届出システムを利用しても問題はなく、来年度以降も当該審議会委員の公募を実施する場合に、当該申込書について、電子申請・届出システムを利用しても問題はない。

(3) 安全対策について

今回利用する電子申請・届出システムは、2009年12月10日付け諮問第417号で諮問し、同日付け藤沢市個人情報保護制度運営審議会答申第417号で承認された、神奈川県及び県内市町村で利用する電子自治体共同運営システムである。

ア 契約方法

システムを運営する次世代電子自治体推進企業コンソーシアム（代表事業者：日本電気株式会社 神奈川支社 支社長）と神奈川県が委託契約を締結して運用し、本市は神奈川県と協定を結んでシステムを利用する。また、本市はシステムを運営する同コンソーシアムと個別の個人情報の取り扱いに関する業務委託契約書を締結することにより、個人情報を適切に管理するよう指導監督する。

イ ネットワーク

電子申請・届出システムでは、市民利用者側が通信するインターネットからのセキュリティがファイアウォール（F/W）等により十分に確保されている。また、インターネット通信は、SSLを利用した暗号化により、外部への情報漏洩を防ぐ。

職員は、自治体職員のみが利用できる専用回線の総合行政ネットワーク（LGWAN）を利用し、LGWANの通信についてもF/Wや暗号化等によりセキュリティが確保されるとともに、LGWANと庁内の情報系ネットワークの接続についてもF/Wを設置し、セキュリティ対策を行っている。

ウ 施設要件

国が定める「情報システム安全対策基準」を全て満たしており、具体的な施設への入退室の手順は次のとおり厳格に管理を実施する。①入室の事前申請、②作業決裁権者による承認、③施設警備員による写真付身分証の

確認，④ワンタイム I Cカードの交付，⑤生体認証。

また，ラックの鍵は施設管理者が管理しており，必要なときに必要なラックのみにしか触れない管理を実施する。

エ 管理基準

プライバシーマーク及び I S M S に基づき「セキュリティ基本方針」「セキュリティ実施規程」を策定し，国が定める「情報システム安全対策基準」及び「A S P ・ S a a S における情報セキュリティ対策ガイドライン」に準拠した運用を実施する。

以上のことから判断すると，安全対策上の措置が施されていると認められる。
以上に述べたところにより，コンピュータ処理を行うことは適当であると認められる。

以 上